日能研 全国テスト 国語の問題

一　神奈川県に住む、小学五年生のナナさんの家で、一まいの絵をかざりました。ナナさんが、家の近くの大通りのようすをえがいた絵です。その絵を見ながら、ナナさんと大学生のお兄さんが話をしています。

お兄さん　「街路樹がきれいにかけているね。」
ナナさん　「街路樹って、道にそってならんでいる木のことだよね。緑の葉が風にゆれてきれいだと思ったんだ。街路樹があると、景色がよくていいなあ。」
お兄さん　「たしかにきれいだね。そう言えば、街路樹についての新聞記事をさがして、ナナさんに見せました。」

お兄さんは、自分が保存しておいた新聞記事をさがして、ナナさんに見せました。

倒木防止へ一斉点検

横浜市 2万8000本を4年かけ

キノコ*寄生重点

樹齢を重ねた樹木が腐って倒れるのを防ごうと、横浜市は今年度から4年をかけ、市内にある桜やケヤキなどキノコが寄生しやすい8種類約2万8000本を対象に、初の一斉点検に乗り出す。*隣接する川崎市では14日に商業施設の木の枝が折れて落下し、*女児が重傷を負う事故があったばかり。専門の*樹木医に点検を依頼し、人が集まりやすい駅周辺から倒木の*リスクを減らす方針だ。【飯田憲】

街路樹は*景観や大気の*浄化などに効果がある一方、枝の落下などで歩行者や建物にけがや損害を与える事故が少なくない。市道路局によると、昨年度は徒歩パトロールによる点検で、枯れ枝や道路へのはみ出しなど対応が必要な街路樹6610カ所を確認。「枝が枯れている」206カ所▽「地中の根が歩道を押し上げている」346カ所▽「腐って倒木の原因になるベッコウダケなどのキノコが寄生している」58カ所――だった。

市が特に注目したのは、外見からは気づきにくいキノコによる寄生。葉が生い茂っていても根元が腐っている*ケースがあり、専門の樹木医の点検が必要と判断した。

そのため、市は今年度4600万円の予算を*計上。雨が多くキノコが発生しやすい6～9月に樹木医約10人で年間約7000本ずつ調べ、必要があれば*伐採する。対象はキノコが寄生しやすいソメイヨシノやケヤキ、プラタナスなど8種類。人通りが激しい大規模駅周辺や、街路樹が多い*新興住宅街を重点的に点検していく。

市道路局施設課は「街路樹の寿命は数十年と長く、*一見したただけでは危険かどうか分からない。景観と倒木のリスクのバランスを*考慮して、点検に臨みたい」としている。



JR関内駅近くの「関内桜通り」。景観に配慮しながら、横浜市が倒木の事故防止へ、乗り出す＝横浜市中区で

（二〇一四年四月一九日　毎日新聞）

＊寄生……他の生物につき、その養分をとって生きること。
隣接する……となり合っている。
女児……女の子。
樹木医……樹木の診断や治療をする技術者。
リスク……危険。
景観……風景や景色。
浄化……きれいにすること。
ケース……実際の例。場合。
計上……全体の計算に組みいれること。
伐採……木を切ること。
新興住宅街……古くからある住宅地とちがう、新しくできた住宅地のこと。
一見したただけでは……ちょっと見ただけでは。
考慮……いろいろな要素をふくめて、よく考えること。

問一　倒木を防止するのは、何のためですか。記事から読みとって、最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えましょう。

ア　数十年と言われる街路樹の寿命を、少しでものばすため。
イ　倒木のおそれがある、八種類の街路樹を一斉に点検するため。
ウ　街路樹の持つ、景観や大気の浄化などへの良い効果を、多くの人に伝えるため。
エ　倒木による歩行者のけがや建物の損害といった事故がおきないようにするため。

問二　点検を樹木医にたのむことにしたのは、どうしてですか。記事に書かれていることとして、最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えましょう。

ア　木が腐る大きな原因となるキノコの寄生は、雨が多い六～九月に発生しやすいから。
イ　木の専門家である樹木医なら、同じ期間でも、専門家でない人よりも多くの木を点検することができると予想したから。
ウ　キノコの寄生などによって木が腐っているかどうかは、外見からは気づきにくいので、専門家の力が必要だと判断したから。
エ　木の専門家である樹木医なら、点検対象の木の種類とキノコの種類を判別できるので、どの木にどのキノコが生えているかを、正しく調べられるから。

問三　町なかの街路樹が、わたしたちの生活にあたえると考えられる良い影響、悪い影響は、記事に書かれていること以外にもありそうです。良い影響、悪い影響の両方を考えてみましょう。そして、あなたが考えた良い影響、悪い影響をふまえると、街路樹を植えるところは、今後増えるでしょうか。それとも、減るでしょうか。あなたのことを知らない多くの人に読んでもらうつもりで、あなたの意見を伝える文章を、読む人に納得してもらえるように書きましょう。

ナナさん　「街路樹があるっていいことばかりじゃないんだね。でも私は、ぜんぶの道路に街路樹があったらいいのに、と思うんだけどな。」
お兄さん　「町なかに街路樹があることで、生活に良い影響もあれば、気をつけないといけない、悪い影響もあるよね。」

絵と新聞記事を見ながら、二人の話はまだまだ続きそうです。

答え

一

問一	問二
エ	ウ

問三　例

今後、街路樹は増えていくだろう。たしかに、「街路樹は危ないし手間がかかるからいらない」という人もいる。私の経験でも、夏に茂りすぎた葉によって、信号が見えにくいことがあった。秋には、街路樹からの落ち葉が排水溝につまって、道路に雨水があふれてしまっているのも見た。しかし、夏の暑い時間に、街路樹の下を通ると、すずしく感じる。そして何より、街路樹がある景色の美しさは、多くの人が大切にしたいと思うのではないだろうか。だから、剪定をしたり落ち葉を回収したりといった適切な管理によって安全を保つことができれば、街路樹を増やし、美しい景観をつくっていけると考える。

仲間の記述例

記述例1

問三

ます。街路樹があることについてのメリットは、その場所がいこいの場となり、お花見などのイベントなどで地域の活性化になるということがいえます。一方、デメリットは、害虫などが人体におよぼすえいきょうです。また、暗い夜道、木で子供がめだたなくなるということもあると思います。

しかし、街路樹を植えるところは増えてくると思います。なぜなら地球温暖化がさけばれている中、光合成をする街路樹を植えることは非常にこうりつてきだからです。

記述例2

問三

良い影響は、二つあります。一つ目は、たとえイライラしていてもきれいなさくらなどを見れば安らぐことです。二つ目は、何もないと静かでさみしそうに見えるところでも、木も植えるだけで少しはなやかになることです。悪い影響は手入れが必要なことです。手入れに時間を使いたい家庭などが出来なくなることがあるかもしれません。これらをふまえて私は、植えろ人がふえると思います。理由は良い影響のほうが多いし、手入れもみんなでやったら楽しそうだからです。

アンサーガイド

一　示された情報を読みとり、自分が情報をつくりだして意見を表現する問題

きょうだいの会話から、街路樹についての新聞記事を読んで、示された情報を読みとります。そして、自分が対照的な情報をつくりだした上で比較し、自分の意見を表現する問題です。

示された情報を読みとる、読みとった情報どうしを比べる、根拠をはっきりさせる、読み手に伝わりやすく表現する、といったことにチャレンジしてほしいと思います。

〔作者・作品〕二〇一四年四月一九日　毎日新聞〔要旨〕横浜市は倒木防止のため、街路樹を点検することを決めた。

問一　倒木を防止するのは何のためかという目的を記事から読みとります。目的は直接は書いてありませんが、「隣接する川崎市では～事故があったばかり」「人が集まりやすい駅周辺から倒木のリスクを減らす方針」というところから類推することができます。枝が落ちてきてけがをした人がいることと、木が倒れるのを防ぐことのつながりを考えましょう。記事の本文でも「街路樹は～枝の落下などで～けがや損害を与える」とあります。木が倒れたら、枝の落下と同じように、人や建物に損害を与えることが想像できますね。

問二　記事で「樹木医」という言葉が出てくる部分をさがします。「市が特に注目したのは～キノコによる寄生」「葉が生い茂っていても～専門の樹木医の点検が必要と判断した」という部分が手がかりです。キノコの寄生は「外見からは気づきにくい」と書いてあります。そして「専門の樹木医の点検が必要と判断」という部分につながりますから、専門家である樹木医なら、キノコの寄生に気づけると判断したのだとわかります。

問三　記事にもあるように、街路樹は、景観や大気の浄化など、生活に良い影響があると考えられています。一方で、生活に与える悪い影響を考え、できるだけそれを減らしていくことも考えられています。

答案例では、記事から考えられることも挙げていますが、それ以外のことも、さまざま考えられます。自分が目にしたり耳にしたりしたことを思い出してもよいでしょう。また、自分が想像してつくりだしたことでもかまいません。

ここで大切にしてほしいことは、「良い影響」「悪い影響」の両方を考えること、自分の意見をつくりだすこと、自分の意見をささえる理由や根拠をつくりだすこと、論理のプロセスを大切にしながら、読み手が納得するように、伝わりやすい表現を工夫することです。

テストの時間が終わった後も、まわりの人やおうちの人とも話してみてほしいと思います。また新たな視点や考えに気づくかもしれません。